

住宅と窓 その4

Vol. 6

P

第6号のポイント

1. 窓を反転することができる開閉方式が「トップターン」。
2. 「トップターン」は、2階でも外側のガラス拭きが簡単。
3. 「トップターン」は、気密が取りやすく大きな開口も可能。

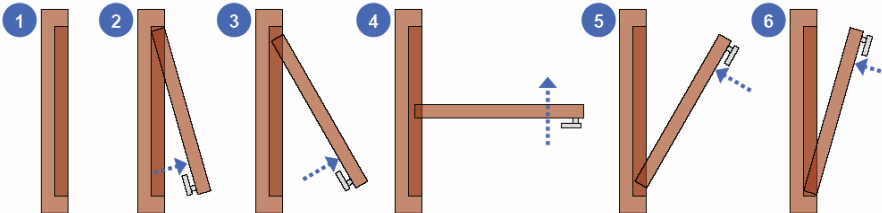
?

筆者プロフィール

金井田晃央(かないだあきお)
1975年 群馬県生まれ
日本大学大学院(建築・構造)を卒業後、スウェーデンへ渡る。
スウェーデンで住宅・建材の輸出マネージャーを10年間務める。
河本工業の次世代型住宅である「Komoto Hus」(河本ヒュース)の開発メンバーに携わる一人。
スウェーデン住宅・建材・家具等の輸入手配を主に担当している。
筆者ホームページ:
<http://mala-gruppen.com>



- ② 約16° 開
- ③ 約30° 開
- ④ 回転(反転)
- ⑤(⑥) 固定



窓が回転(反転)する3層ガラス木製窓「トップターン」

Hejsan! 今回はスウェーデン本国で最もよく使われている木製窓をご紹介します。この窓は、3層ガラスで抜群の断熱性能を誇ります。面白いのは「トップターン」と呼ばれる開閉方式です。なんと、窓が回転します。「トップ」は先端、「ターン」は回るという意味なので、先端が回る・・・といった意味になります。

どのように回転するかというと、まずレバーハンドルを回して窓を外へ押し、②の状態まで開きます。ロック(固定)解除ボタンを押すと、窓は③の状態まで開きます。窓は、②の状態で約16°、③で約30°開きますので必要に応じて使い分けられます。窓を開けた状態が、日よけの「オーニング」に似ていることから、「オーニング窓」とも呼ばれています。このため、多少の雨が降っても、窓がオーニングとなり雨が室内に入ってくるのを防いでくれるというわけです。

そして、ここからが重要です。③の状態でもロック解除ボタンを押すと、窓は④の状態まで反転し、⑤の状態まで固定されます。さらにロック解除ボタンを押すと、窓は⑥の状態まで閉まり固定されます。面白いですね! でも一体どうして窓を反転させる必要があるのでしょうか・・・? もうお解かりですね。そうです、ガラス拭きのためです。窓が反転すれば、外側のガラスも掃除のため簡単に拭くことができるというわけです。

この窓は、構造上、気密が取りやすく、大きな開口に対応できることも人気の秘密です。次回は、窓の断熱性能についてもっと詳しく説明していきます。どうして窓ガラスに結露が発生してしまうのか?・・・窓の断熱性能はどこまで上げることができるのか?・・・などなど、次回もお楽しみに!

文責 金井田晃央 (筆者へのお問い合わせ先: info@mala-gruppen.com)

Innovation : イノベーションとは、これまでのもの、仕組みなどに対して、
全く新しい考え方や技術を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起すこと。